

# 土佐希望の家通信



<発行>重症心身障害児(者)施設 土佐希望の家 高知県南国市小籠107 TEL 088(863)2131/FAX 088(863)2133/  
<http://www.i-kochi.or.jp/hp/tosakibo/> Email:tosakibo@i-kochi.or.jp 発行責任者 門田 正坦 編集責任者 中屋 淳

## HAPPY LIFE 家族の窓 3病棟あざみ 森田 豊 様



土佐希望の家、3病棟あざみでお世話になっております、森田豊の後見人、兄森田寛です。

豊は生まれたときから脳性麻痺により、両手両足に動きがなく、私と家内が豊の教育と体の運動について対応して参りましたが、豊の両手両足の動きは難しく、頭の動きは良くならず、豊は常に働けたらとくやしがっていました。

家内が昭和三十五年に産後輸血した時後よりC型肝炎になり、入院を繰り返して、足が不自由になり、豊の面倒が見ぬくようになりました。

この時、県職に私はいたので、豊を土佐希望の家に入所を進めていただき、この対応により、平成九年八月二十六日入所させていただきました。

豊の身体は麻痺により動きがなく、又、年齢にもよるのか、大便が出ぬく、この大便を出すために、腹部、腰にハイプレーターをかけ、そして看護師の方による人手により、便を出す状況にあります。これがいつまで続くかが、又、生命が心配です。

森田 寛

## 私の仕事

在宅支援センター 北山道夫



重症児・者を抱えて、在宅で生活することは、本当に大変なことです。熱が出たり、発作を起したりなど、そのたびに主治医のもとへと走らなければなりません。そして、年齢とともに体力的にも、精神的にもすごいエネルギーが必要です。その意味で、在宅で介護されている保護者の皆さまには本当に頭の下がる思いです。

私は長年、在宅の通園にかかわってきました。人の痛みがわかる職員、心配りのできる職員を目指し、相手の気持ちになって行動をすることを心がけました。

通園事業は、レスパイト事業の一つでもあると思います。利用者の皆様そして保護者の皆様が、明るく前向きに、元気で頑張れる助けになれる場でありたいと思ってきました。しかし、行き届かないこともたくさんあり、十分ではなかったのではないかと反省する日々でもありました。

満足ということは、とてつもない望みのようですが、私たちは、それに限りなく近いものを求めて努力しなければならぬと思います。



『北山さん38年間お疲れ様でした!』

## 希望の家分校 卒業おめでとう!

三月十二日(木)、土佐希望の家分校の卒業式が行われました。希望の家通学生からは乾由季さん、野本智之さんの2名が高等部を卒業されました。ご卒業おめでとうございます。



たくさんの思い出ができましたね!



## 滋さん米寿のお祝い

5月9日(土)、2病棟西に入所されている中沢滋さんの八十八歳米寿を祝う会をしました。大正十一年生まれの滋さんは昭和五十一年に入所され、その後三十三年間、土佐希望の家で過ごされてきました。現在、入所者の方の中で最高齢です。百歳目指してこれからも元気にやっつけていきましょう!



滋さん「おめでとうございます!!」



## 希望の家分校 入学おめでとう!



これからみんなで頑張っていきましょう!

そして、四月八日(水)には土佐希望の家分校入学式が行われました。7名の新入生のうち、希望の家からは中村達也さん(中学部)、岡林秀宜さん、佐藤誠さん、森本英子さん(高等部)が新しく入学されました。おめでとうございます。



あざみにボランティアに来てもらっていた笹山さんと金澤さんが高知大学医学部を卒業され、最後のボランティアとなりました。ありがとうございました! また遊びに来てくださいね!

## 「」厚意

### 【寄付金・寄付物品】

小林豊様 吉本美代子様 安藤俊樹様  
 物部川漁業(協)様 坂田二子様 天理教  
 潮分教会様 福原千江様

### 【ボランティア】

ういず音楽ボランティア様 高知福祉専門学校様 笹山瑠美様 金澤智美様 佐野マイン様 清和女子高校様

ありがとうございました。  
 今後ともよろしくお願ひします

### ☆ 編集後記 ☆

中学校入学から米寿のお祝いまで、希望の家の利用者の方々は、世代も幅広いなあ、と今回改めて感じました。滋さん金色のちやんちゃん(が似合ってますね!)

## 花見・カラオケ大会



練習の成果を發揮しました?!

四月十九日(日)、花見・カラオケ大会が行われました。皆さん気持ちの良いお天気のもと、楽しくカラオケ大会を楽しんで、昼食も外でお弁当を食へました。利用者の皆さんだけでなく、保護者の方や職員も一緒になってカラオケしました。楽しい一日になりました。



### 平成21年度 事業計画(重点目標)

#### 1 全体

- ① 職員ひとり一人が、重症心身障害児施設の役割について理解を深めるとともに、「土佐希望の家の理念」の実現に向けて「私たちの行動指針」を実践し、「良質な医療と豊かな暮らし」を提供する。
- ② 各専門領域における技術や知識の向上を図るため、積極的に研修に取り組む。
- ③ 与薬ミスや骨折事故の減少と、院内感染の防止に努める。
- ④ 保護者とのコミュニケーションを密にする。
- ⑤ 腰痛対策など、職員の健康管理に努める。
- ⑥ 福祉サービス第三者評価事業の結果を生かし、より高いサービスを提供できるように取り組む。
- ⑦ 人材の確保と養成に努め、利用者へのサービスの充実と施設運営の安定化を図る。
- ⑧ 平成22年度の土佐希望の家創立40周年記念事業の準備を進める。

#### 2 事務部

- ① 福祉や医療の制度改正に留意し、施設の将来像について検討を進める。
- ② 業務の効率化、迅速化、適正化に努める。

#### 3 医務部

- (1) リハビリ
  - ① サービスの充実に努めるとともに、収入増を図る。
  - ② 他職種との連携を強化し、利用者のQOLの改善につなげる。
  - ③ 重症児リハに関する研修、学習に取り組む。
- (2) 検査
  - 検査値の標準化に取り組む。
- (3) 薬剤
  - 薬剤管理指導業務の届出について検討を行う。
- (4) 給食
  - 行事食、嚥下食などを充実するように努める。

#### 4 看護部

- (1) 共通
  - ① 重症心身障害児(者)の特殊性を理解した看護技術を身につける。
  - ② 看護師の確保と、新人職員の育成、定着に向けて取り組む。
  - ③ 利用者の病状と病棟の特性に応じた病棟への配置を行う。
  - ④ 短期入所とタイムスティの受入に努める。
- (2) 1病棟(こすもす棟)
  - ① 利用者の生活水準の向上に努める。
  - ② 利用者の異常の早期発見と早期対応に努める。
  - ③ 施設内外の各種の研修に積極的に取り組む。

- (3) 2病棟(たんぼぼ・すみれ棟)
  - ① 病院であり、かつ、生活の場であることを踏まえ、看護だけでなく、生活の面に関しても、思いやりのある、きめ細かな対応に努める。
  - ② 保護者や他職種との協調、連携を図り、働きがいのある職場づくりに努める。
  - ③ 看護師配置7:1を維持するため看護師の確保と定着に努める。
- (4) 3病棟
  - ① 老化と重症化に応じた医療の提供と、個々の利用者に応じた援助を行う。
  - ② 施設内外の研修に積極的に参加する。
  - ③ 誤薬や事故の対策に取り組む。

#### 5 療育部

- (1) 共通
  - ① 生活支援基準を活用し、利用者本位のサービスの向上に努める。
  - ② QOLの実態調査と権利侵害行為の実態調査を実施し、利用者の権利擁護に取り組む。
  - ③ 療育部の人材育成システムをつくる。OJT(職場内実践的指導)を重視する。個別指導育成計画の策定する。経験別(新人、2~4年、10~20年)実践的研修を実施する。
  - ④ 各職種間で共有するアセスメント及び個別支援計画を策定し、実施、評価のための管理シートを作成する。
  - ⑤ 日中活動支援を充実する。病棟外のクラブ活動への参加を試みる。

- (2) 1病棟(こすもす棟)
  - ① 小集団での取組(スヌーズレン等)を行う。
  - ② 散歩を増やす。
  - ③ お楽しみ会の充実に取り組む。
- (3) 2病棟(たんぼぼ・すみれ棟)
  - 個別のかかわりの時間を確保する。
- (4) 3病棟東(あざみ棟)
  - 一人の漏れもなく、各人に適した取組をし、生き甲斐づくりを進める。
- (5) 3病棟西(ひまわり棟)
  - ① 全員参加の行事の充実に取り組む。(季節行事、祝い事、飲食店を開くなど。)
  - ② 生活支援基準にそって利用者の個別性を重視した支援に取り組む。

#### 6 在宅支援センター

- ① 年間通園利用者の平均15名の維持に努める。
- ② 保護者との面談を行い、要望を聞くとともに、ケアプランを確認する。
- ③ 利用者に応じた対応が出来るように努める。(医療ケア、取組み、通園時間、通園回数など)

## ひまわり泊旅行 レオマワールド!

## 第2回タイムトライアル ロードレース

三月二十五〜二十六日、浜口さん、村上さん、前田さんとお母さんとでニューレオマワールドに行つて来ました。  
二十五日午後、園を出発、今宵の宿は、ホテルレオマの森「ゆつたりしたベッド、ちよつとリッチな部屋でした。夕食はバイキング、何度も好きなものを取りに行き、おなかいっぱい食べ、満足、満足。  
二十六日は朝から「おもちゃ王国」へ行き、汽車、観覧車、ゴーカー、アドベンチャーシップ、3Dシアターなど沢山の乗り物に乗りました。緊張し、握り棒をしっかりと握っている人、嬉しくてニコニコ笑っている人、それぞれ楽しんでいました。どうでした?おもしろかった!よかった、よかった。又行こね。

3病棟療育員 田村ゆかり



In レオマワールド!  
(香川県)



職員も参加して「よういスタート!」

四月二十三日(木)、希望の家の敷地内で「第2回タイムトライアルロードレース」が開催されました。昨年に続いて第2回目を迎えたこの大会。今年も電動車いす部門、車いす自走部門、歩行部門などに分かれてそれぞれ頑張りました。



「やまもも」では通園利用者様と職員と一緒に「いらっしやいませ」とお迎えし、ご注文を伺うホール係、ミキサーのスィッチを押す係、会計係と役割を分担しています。  
3月は3病棟東、4月は2病棟西の方に主に来ていただきました。コーヒー&ミックスジュースの味は未完成なのですが、「おいしかった」の笑顔に癒されています。皆様、「やまもも」にちよつとのんびりコーヒーでも飲みに来ませんか?



**やまもも**

いらっしやいませ

コーヒーとミックスジュースいかがですか?

### ☆お知らせ☆

“障害児(者)の皆さんの外来診療を行っています。お気軽にご利用下さい。”

診療科目 内科、リハビリテーション科

診療時間 月曜日から金曜日まで 13:00~17:00

この曜日(時間)でも診察できない場合がありますし、この曜日(時間)以外でも診察できる場合もあります。あらかじめ、電話でご相談下さい。

受診方法 電話で予約していただいた上で来所下さい。予約がないときは、対応できない場合がありますので、ご注意下さい。

電話番号 088-863-2131

担当医師 内科 西村直己医師ほか リハビリテーション科 江口壽榮夫施設長

